---------------------------------------------------------

「ネットワーク実習」 レポート

---------------------------------------------------------

課題： R2

学生番号：37022503

氏名： 山形隼士

所要時間： （3）時間

（注意）各課題に対して，内容（プログラムの仕組み）と考察（苦労した点，工夫した点）を必ず記すこと．

-----------------------------------------------

(A2-1)

内容：Flaskを用いて，(A1-1)で作成したページを表示した。また、そのためのHTMLファイルa2-1.htmlとPythonスクリプトa2-1.pyを作成した。

考察：(A1-1)で作成した、イベントを表示するページをflaskを用いて表示できるようにした。Flaskを使っての開発に慣れておらず、環境構築に一番苦戦した。

(A2-2)

内容: Flaskを用いて，現在の時刻（時間，分，秒）を表示した．ただし，秒数が偶数の場合と，奇数の場合で表示する文字の色を変えた。そのためのHTMLファイルa2-2.htmlとPythonスクリプトa2-2.pyを作成した．

考察: 文字の色を変えるために、html側のmessageにsafeを追加することで、python側のmessageに含まれているhtmlのタグを認識させ、文字の色を変えることができた。

(A2-3)

内容: Flaskを用いて，(A1-1)で用いたイベント情報に関して，URLパスを変えることで，それぞれのイベント情報が表示されるようにした。また、そのためのHTMLファイルa2-3.htmlとPythonスクリプトa2-3.pyを作成した。

考察: それぞれのイベント情報を辞書配列で定義し、IDで管理することでURLのパスを変えてそれぞれのイベントを表示できるようにした。また、try文を使うことでIDに該当する数字が入力された場合のみ結果を出力するようにした。

(A2-4)

内容: Flaskを用いて，(A1-1)で用いたイベント情報に関して，フォームを用いてIDを入力し，それぞれのイベント情報が表示されるようにした．入力フォームはa2-4in.html，出力ページはa2-4out.htmlとし、そのページを表示するためのPythonスクリプトa2-4.pyを作成した。

考察: 入力フォームを用いて、数字を入力させその数字をIDと照らし合わせて合致する場合のみ結果を出力するようにした。2-3を参考にすることで苦戦することなく作成することができた。

-----------------------------------------------

(B1)

内容：

考察：

-----------------------------------------------

[感想] 課題全体に対する感想

今回の課題ではflaskについて勉強した。Flaskはあまり使ったことがなかったため、環境構築に苦戦したが、一度動くものを作ってみるとあまり苦戦することなく課題を作成することができた。Htmlの書き方を間違えて何度か動かないことがあったため、タグの名前とクラスを定義した場合はどのクラスをどこに定義したにかわかるようにわかりやすい名前をつけてコードをみただけでわかるようにしたい。